

大阪府建築士事務所協会 第6支部主催

「民泊の過去・現在・未来」セミナーの報告

(CPDポイントは2単位)

日時 2018年8月7日(火) 18時~19時30分

開催場所 靱(うつば)会館

講師 阪南大学 国際観光学部 松村嘉久 教授

講義タイトル 「民泊の過去・現在・未来」

参加人員 23名

講義内容 民泊問題の居住施設と宿泊施設との境界は何かとの問題を中心に、旅館業法上や特区民泊、住宅宿泊事業法及び立法化された住宅宿泊事業法などを含めた民泊の過去・現在・未来についてご講演頂いた。講義終了後の質疑応答でも活発な質問や意見交換を行い、大変有意義な講演会となりました。

スタッフ 3名 (担当: 事業WG 渡邊 他)

講演内容 日本のアウトバウンドとインバウンド
 アジアに強い関西国際空港
 民泊問題の過去
 適法性に欠ける宿泊施設急増の背景
 宿泊施設・新法民泊・特区民泊の比較
 大阪市の住宅宿泊事業に関する条例
 大阪市の宿泊施設の現状
 旅館業及び特区民泊の許可・認定件数
 民泊をめぐる諸問題
 大阪市における民泊をめぐる課題
 京都市の民泊の場合

付帯資料「JR新今宮駅周辺における民泊の実態」

2018/8/7



阪南大学 国際観光学部 松村嘉久教授

